

220年5月17日(日)朝10:10～  
5月第3共同主日礼拝式説教

復活節第6、自由交歓会等  
日本アライアンス庄原基督教会

## 説教題：預言者ヨナのしるし(40)

聖書：マタイ 12章38～42節

<口語訳>

新約聖書19～ 頁

マタイ 12章38～42節

<新共同訳>

新約聖書23～ 頁

マタイ 12章38～42節

<新改訳第3版>

新約聖書23～24頁

マタイ 12章38～42節

<塚本訳>

新約聖書102～103頁

主題：主イエス様から賜った聖霊の導き

によって主の弟子たちは、主の名による  
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、  
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

◇**マタイ書**は、**使徒マタイ**が、**ユダヤ人の立場で王なる救い主(メシヤ)なる神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。

◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の山上の垂訓・説教と表現される箇所です。

◇本日は**マタイ12:38～42**の**箇所**から救いのしるしを求めるが、**神**を無視する悪い時代を**ヨナ**と知恵者**ソロモン**の知恵を求めた**南の女王シバ**を通して、何が真実かを問うておられます。

⇒「**ヨナ**」は、アッシリヤの主とニネベの人々が悔い改めたこと、「**南の女王シバ**」は、「**ソロモンの知恵**」を求めたことを通して、主は何が真実かを問うておられます。

⇒主に**神の子・メシヤ**であるしるし(証拠)を求め、主は悪い時代は、しるしはほしががるが、「**ヨナのしるし**」以外は与えられないとお答えです。

⇒「**南の女王シバ**」は、「**ソロモンの知恵**」を求めて、南方より旅してきたから、**真実**を求める者の**ざばきの基準**になると、主は仰せです。

⇒**真実**は、**真実**を求めている者の心には見える。

本論；

◇本日、**マタイ書12章38～42節**から主の**使信**に**思い・心**をとめます。

◆**マタイ12章38～42節**；使徒**マタイ**は、盲人の「**悪霊**」を追い出す**神の御子イエス・キリスト様**を「**悪霊**」を追い出している「**悪霊のかしらベルゼブル**」と言い、「**ニネベの人々**」、「**南の女王シバ**」は、**真摯**生きていると語っています。

◇**12:38～42節**；塚本訳◆**ヨナの徴**

「38 すると数人の聖書学者とパリサイ人が口を出して、イエスに言った、「先生、(では、神の子である証拠に)あなたの(不思議な)徴を見せてください。」

39 彼らに答えられた、「この悪い、神を忘れた時代の人々は、(信ずるのに)徴をほしがらる。しかしこの人たちには、預言者ヨナの徴以外の徴は与えられない。

40 すなわち『ヨナが三日三晩大きな魚の腹の中にいた』ように、人の子(わたし)も三日三晩地の中におるのである。

41 しかし人々は信じない。(だから)ニネベの

人がこの時代の人と一しょに(最後の)裁き(の法廷)にあらわれて、この人たちの罪が決まるであろう。というのは、ニネベの人はヨナの説く言葉に従って悔改めたが、(この人たちは、)いまここにヨナよりも大きい者がいる(のに、その言葉に従わない)からである。

42 また、南の国(シバ)の女王がこの時代の人と一しょに(最後の)裁きの(法廷に)あらわれて、この人たちの罪が決まるであろう。というのは、彼女は地の果てからソロモン(王)の知恵を聞きに(エルサレムに)来たが、(この人たちは、)いまここにソロモンよりも大きい者がいる(のに、それに耳を傾けない)からである。」と、**使徒マタイ**は主のことばを語っています。

◇**マタイ12:38~41** ; 「すると数人の聖書学者とパリサイ人が口を出して、イエスに言った、「先生、(では、神の子である証拠に)あなたの(不思議な)徴を見せてください。」(38)」、「彼らに答えられた、「この悪い、神を忘れた時代の人、(信ずるのに)徴をほしがらる。しかしこの人たちには、預言者ヨナの徴以外の

徴は与えられない(39)」、「すなわち『ヨナが三日三晩大きな魚の腹の中にいた』ように、人の子(わたし)も三日三晩地の中におるのである(40)」、「しかし人々は信じない。(だから)ニネベの人がこの時代の人と一しょに(最後の)裁き(の法廷)にあらわれて、この人たちの罪が決まるであろう。というのは、ニネベの人はヨナの説く言葉に従って悔改めたが、(この人たちは、)いまここにヨナよりも大きい者がいる(のに、その言葉に従わない)からである(41)」、「**御子イエス・キリスト様**」は、**神**のしるしを求めるが、真実な心で主に耳を傾けないパリサイ派の人々に譬え・比喻で語られました。

⇒「神を忘れた」、「不義」、「姦淫」、「神に背いた」と翻訳されたことばは、直訳は、新改訳2017の「姦淫」です。

⇒主を裏切って不貞をする妻に譬えて、主を殺害しようと目論むパリサイ派の人々をさして語られた皮肉です。

⇒「**ヨナ**」の比喻も、ユダヤ人が救いはないとしゅちょう主張した異邦人でした。

◇**マタイ12:42**；「また、南の国(シバ)の女王がこの時代の人と一しょに(最後の)裁きの(法廷に)あらわれて、この人たちの罪が決まるであろう。というのは、彼女は地の果てからソロモン(王)の知恵を聞きに(エルサレムに)来たが、(この人たちは、)いまここにソロモンよりも大きい者がいる(のに、それに耳を傾けない)からである(42)」、「**御子イエス・キリスト様**」は、「**南の女王シバ**」は、「**ソロモンの知恵**」とともに、「**ソロモンの知恵**」が、**神**から来ていることを見抜いていたことを示しておられるのです。

⇒**神の律法**に通じていると自負していながら、**神の知恵**に欠けていることを示しておられません。

⇒〈新改訳2017〉I コリ 1:30 しかし、あなたがたは神によってキリスト・イエスのうちにあります。キリストは、私たちにとって神からの知恵、すなわち、義と聖と贖いになりました。

## 結論；

- ◇神は、変わらない愛と思いやりの神です。
- ◇マタイ書は、使徒マタイが、ユダヤ人の立場で王なる救い主(メシヤ)なる神の御子イエス・キリストを証言した記録です。
- ◇マタイ5～7章は、神の御子イエス・キリスト様の山上の垂訓(説教)の箇所です。
- ◇本日は**マタイ12:38～42**の**箇所**から救いのしるしを求めるが、**神**を無視する悪い時代を**ヨナ**と知恵者**ソロモン**の知恵を求めた**南の女王シバ**を通して、何が真実かを問うておられます。
- ⇒「**ヨナ**」は、アッシリヤの主とニネベの人々が悔い改めたこと、「**南の女王シバ**」は、「**ソロモンの知恵**」を求めたことを通して、主は何が真実かを問うておられます。
- ⇒主に**神の子・メシヤ**であるしるし(証拠)を求め、主は悪い時代は、しるしはほしががるが、「**ヨナのしるし**」以外は与えられないとお答えです。
- ⇒「**南の女王シバ**」は、「**ソロモンの知恵**」を求めて、南方より旅してきたから、真実を求める者のざばきの基準になると、主は仰せです。

⇒真実は、真実を求めている者の心には見える。

⇒「**御子イエス・キリスト様**」は、「ヨナ」、「**南の女王シバ**」によって、「**ヨナにまさる者がいる**」、「**ソロモンにまさる者はがここにいる**」と、明確に示しておられます。

⇒〈新改訳2017〉

ロマ 12:16 互いに一つ心になり、思い上がることなく、むしろ身分の低い人たちと交わりなさい。自分を知恵のある者と考えるはいけません。